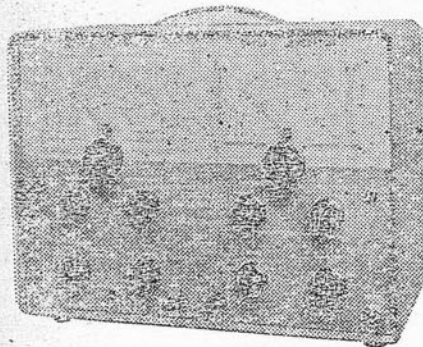


国内新製品紹介

リーダーのスイマー・ジェネレーター “LSG-532”

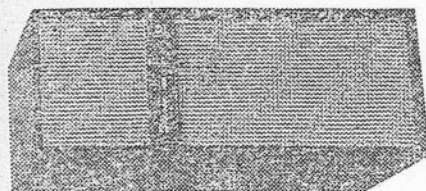
スイマー・ジェネレーターとマーカー・ジェネレーターを一つの筐体に収容した、TV-FM専用のサービスマスター・ジェネレーターである。同社のLSG-531より、漏洩電波の減少、減衰器の改良、マーカー周波数範囲の配分、またセルフ・キャリブレーション等に各回路の改良、充実をはかっている。スイマーの発振周波数は2~120 Mcと150~270 Mc、掃引帯域幅12~20 Mc(連続可変)、マーカー発振の周波数は3.5~6.6 Mc, 20~13 Mc, 10~18 Mc, 20~35 Mc, 36~68 Mc, 72~136 Mc, 58~125 Mc, 116~250 Mcである。使用真空管は6J8, 6U3, 12BH7, 6CG8, 6C4, 6AV6, 6X4。外形寸法は360×265×180(mm)で、重量約10.4 kg。定価は¥59,500。



(東京都目黒区上目黒5の2596)
大松電気 K. K.

コーラルのSPシステム “BX-8”

家庭用Hi-Fi、ステレオに好適なスピーカーシステムで、キャビの中には18×12(cm)の楕円型スピーカー“57E-1A”が入っている。入力6W、インピーダンス8Ω、周波数帯域100~12,000 c/s、外形寸法は400×148×210(mm)で、重量は1.89 kgである。



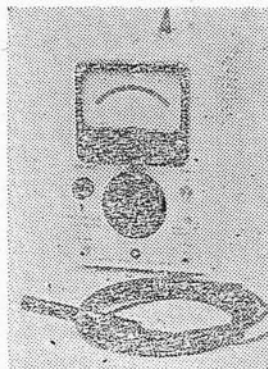
(東京都北区堀船町3の25)
福洋音楽 K. K.

菊水の測定器 2種

真空管電圧計 “KIK-181”

これは機器の量産工場において検査工程を簡

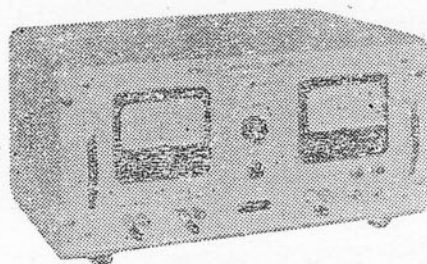
略化するために、被測定電圧をあらかじめ設定した電圧と比較し、その電圧が許容誤差範囲内にあるかどうかを迅速に判定する電圧計で、10点までの測定点に対し-50~+300Vの基本電圧、変化許容値±1, ±1.5...±50Vをそれぞれ自由に選択でき、異常入力電圧に対し指示計は完全に保護されている。外形寸法は180×245×275(mm)で、重量は約5.4 kgである。



定電圧直流電源 “722”

本材は0~500Vを微細に連続可変のできる安定度の高いもので、リップル電圧は少なく大型の出力電圧計・電

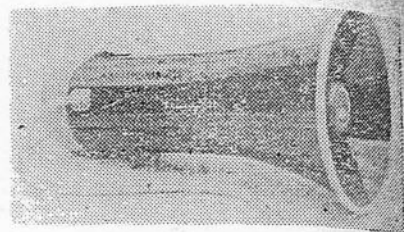
流計を備え、各種の精密実験または直流計の較正用電源として便利である。使用真空管は6CA7×3, 6U3×2, 6S51の計6本で、指示計は直流電圧計0~500V、直流電流計0~200V。直流出力電圧0~500V(可変)、電流は任意の出力電圧において直流分0~250mA(交流分を含めて0~300mAピーク)、電圧変動率は出力電流の0~150mAの変化に対して±(0.5%+1V)、リップルは上記範囲において10mV P-P、出力電圧計、電流計の精度はフルスケールの±2.5%である。外形寸法は520×260×290(mm)で、重量は約20 kgである。



(東京都大田区馬込町西4の67)
菊水電波 K. K.

ユニバーシティの電気メガホン “SM-6”

日本電音の売出したもので“メガベット”と呼ばれる小型軽量なメガホンである。通達距離は300mで、口径165mm、全長300mm、重量1.5 kgとなっている。電池は単一4個で、動作中の消費電流は200 mAである。また2つの押ボタンにより音量を強・弱に切換えることもできる。電池は連続使用で約6時間、間欠使用なら10時間もつとのこと。定価は¥6,700。



(大阪市東成区深江東6の1)
日本電音 K. K.

TMKのテスター “200, 220”

TMKの立川無線計器では写真のような、アクリルと黒ベークの構成によってデザインされた小型テスターを発売することになった。トランジスター回路の測定に便利なように低圧レンジがついている。200型と220型の定格は

○Model 200 (メーター感度 38 μA)	
DC (V)	0.6, 6, 30, 120, 60, 1200
AC (V)	6, 30, 120, 600, 1200
DC (A)	60 μA, 6, 60, 600 mA
抵抗 (Ω)	10 k, 100 k, 1 M, 10 M.
μF	0.002~0.2 μF
dB	-20~+63 dB
○Model 220 (メーター感度 150 μA)	
DC (V)	2.5, 10, 50, 250, 1000, 2500
AC (V)	2.5, 10, 50, 250, 1000
DC (A)	250 μA, 2.5, 25, 250 mA
抗抵 (Ω)	4 k, 40 k, 400 k, 4 M
dB	-20~+48 dB

となり、外形寸法は両者とも91×131×39(mm)で、重量は370 grである。正価は“200型”が¥2,950、“220型”が¥2,650である。

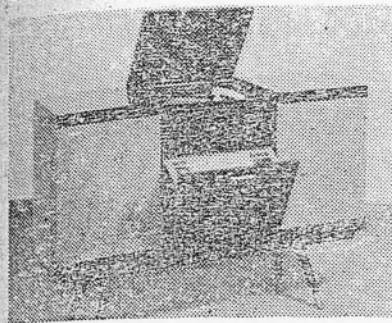
(東京都北多摩郡国立町東区15)
立川無線計器製作所

東芝のステレオ装置 102型

同社のファミリー・ステレオ・シリーズの1つで、プレーヤー“TPS-53”、ラジオアンプ“TAS-54”、SPシステム“TSS-55”のアンサンブルである。ラジオ部は中波が2回路、短波が1回路である。プレーヤー部はモーターが2極インダクション型の4スピード、20 cmゴムシート、PUはステレオのクリスタル、針



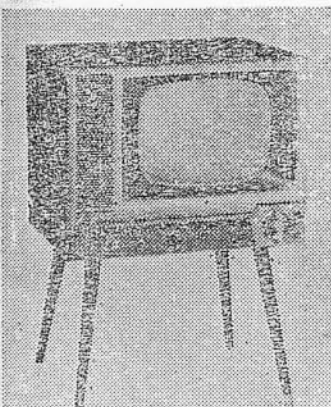
重 6gr, 外形寸法は幅 410×奥行 325×高さ×155 (mm), 重量 5.4 kg. ラジオ・アンプ部は 9 球 (1 マジックアイ) 2 バンド 2 チャンネルで, MW 535~1605 kc×2, 3.9~12 Mc. 出力は無至 2.0 W×2, 最大 2.5 W×2, 消費電力は 70 W. 使用真空管は 6BE6×2, 6BA6×2, 6AV6×2, 6AR5×2, 5R-K16. 外形寸法は幅 410×奥行 325×高さ 350 (mm) で, 重量は 12 kg である. スピーカー・システムは 20 cm 型オイルダンプ方式 (VC インピーダンス 4 Ω) のものを使い, キャビネット外形寸法は幅 350×奥行 325×高さ 505 (mm), 重量は 6 kg. 定価は TPS-53 が 13,500, TAS-54 は 22,800, TSS-55 は 13,500 で, 合計で 49,800 となる.



(東京都千代田区有楽町 朝日新聞社新館内)
東京芝浦電気・レコード営業部

サンヨーの 14 型受像機 “14-LI”

本機は近代的設備を誇る東京三洋電機の初製品であって, 28×9 cm の長楕円型スピーカーに 4 cm のツイーターを同軸に組込んだダブル・コーンのスピーカーを使っている. 使用真空管は 4R-HH2, 5M-HH3, 6C36×3, 4M-P12, 12BH7A×3, 5U8×2, 12BY7A, 12G-B3, 12G-K17, 1X2B, 3AL5 で, 音声出力は 1.2 W (歪率 10%), ブラウン管は 14RP4A (14 型 90° メタルバック), 外形寸法は幅 540×奥行 43.5×高さ 43.5 (mm) で, 重量は 25 kg である. 正価は 58,000.



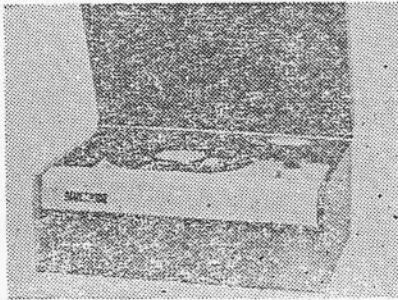
(大阪府守口市京阪本通 2 の 18)
三洋電機 K. K.

ナショナルの新製品

高級ステレオ・プレーヤー “HP-150”

針圧わずかに 3gr というムービング・マグネット型 PU を使ったもので, 周波数範囲は 20~15,000 c/s である. 出力電圧は LP が 5

mV (1000 c/s にて速度振幅 5 cm/sec, 負荷抵抗 50 kΩ), クロストーク 25 dB 以上 (1000 c/s), チャンネル・バランス 3 dB 以内となっている. モーターはコンデンサー起動の 4 極コイル, リムドライブで, 回転数は 33¹/₃ と 45 rpm の 2 スピード型, 回転ムラは 0.15% 以内, 30 cm ターンテーブルがついている. 外形寸法は幅 540×高さ 245×奥行 480 (mm) で, 重量は 13.6 kg. 正価は 68,000



オール TR のラジオ・グラフ “RG-2”

8 石のトランジスター・ラジオとポータブル・プレーヤーとを組合わせたもので, ラジオとしては受信周波数 535~1605 kc と 4~10 Mc の 2 バンドである. 出力段は 2B2172 (0G72)×2 で, 電気的出力は無至 250 mW, 最大 400 mW. スピーカーは 16×10 cm 楕円型である. フォノモーターは 4 スピード (9V DC モーター) で, ピックアップはクリスタルである.

外形寸法は幅 240×高さ 130×奥行 360 (mm) で, 重量は電池ともで 4.5 kg である. 正価は 24,900.

7 石 2 バンド・ラジオ “T-21”

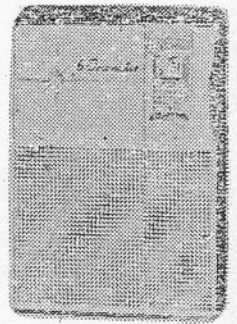
胸ポケットにも入る小型な 2 バンド・ラジオで, 新しく開発されたマンガン乾電池 M-004P (120) を使っている. これは幅 15×長さ 15×高さ 4 cm のもので電圧は 6V. 断続使用なら約 80 時間のもつ. また, これの代りに水銀乾電池 KN-4N (5.2 V) を使うこともできる. 使用トランジスターは 2SA-102×2, 2SA-101×2, 2SB-171, 2SB-172 (0G72)×2 で, 受信周波数は 540~1600 kc, 3.9~11 Mc である. 出力は無至が 50 mW, 最大 80 mW, スピーカーは 6 cm 型である. 外形寸法は幅 69×高さ 110×厚さ 31.5 (mm) で, 重量は 310 gr. 正価は 9,500.



6 石ポータブル “T-11”

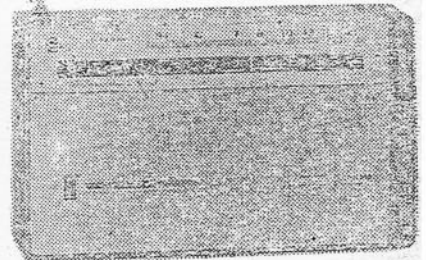
2SA-102×2, 2SA-101, 2SB-171, 2SB-172×

2 の 6 石で, 540~1600 kc のシングル・バンドである. 出力は無至 45 mW, 最大 80 mW, スピーカーは 5 cm 型, 電池は前記と同じ M-004P (6 V) を使っている. 外形寸法は幅 60×高さ 84.5×奥行 25.5 (mm) という小型さで, 重量はわずかに 190 gr である. 正価は 7,000.



10 石 2 バンド・ラジオ

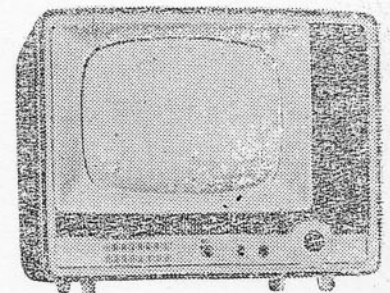
RF 増幅つきで, IF2 段, AF 2 段というもので, 使用トランジスターは 2SA-103, 2SA-102×2, 2SA-101×2, 2SB-171×3, 2SB172×2 の 10 個である. 感度は MW バンド, SW バンドとも 100 μV/m/10 mW である. 出力は無至 150 mW, 最大 250 mW. 電池は単二 4 個 (6 V) で, スピーカーは 8 cm 型を使っている. 外形寸法は幅 192×高さ 113×奥行 49 (mm) で, 重量は 1070 gr である. 正価は 14,900.



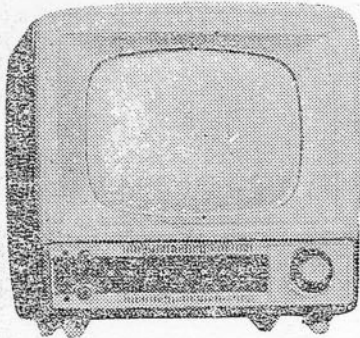
(大阪府北河内郡門真町)
松下電器・ラジオ事業部

14 型受像機 “L-7”

同じくじまんのゴールデン・ゲート管 7D18 を高周波増幅に使ひ, 高感度を得ているほか, スピーカーは 2 つ, すなわち向かって右側に 25×8 cm 楕円型を低音用, 左下に 6 cm 丸型を高音用として配置している. また, レコード・プレーヤーをつなぐこともでき, 手持ちのラジオとあわせてステレオ・プレーヤーを使えばステレオも聞けるようになっている. 使用真空管は B 管ともで 17 球, ゲルダイ 3 個, シリコン・バリオード 1 個で, 音声出力は無至で 2 W である. 消費電力は 135 W. なおテレコへの録音も可能で, 遠隔操作として同社のワイヤー・リモーターでもライト・リモーターでも使うことができる. キャビネットは金属製. 外形寸法は高さ 430×幅 520×奥行 450 (mm) で, 重量は 22 kg である. 正価は 62,500



●14 型受像機 “M-7”



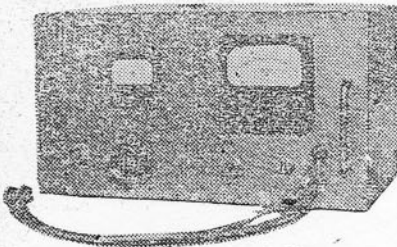
L-7と同様に7DJ8を使っている。スピーカーは18×10cmのダブル・コーン型を使い、出力は無歪2Wである。前記のL-7型では書きおとしたが、L-7、M-7ともシリコン・バリオード 6A302の働きにより自動的に微調整が行われるようになっている。リモコン装置をつけられることも前と同じである。本機のキャビネットは木製で、外形寸法は高さ460×幅460×奥行450(mm)で、重量は18.5kgである。正価は¥64,000。

(大阪府茨木市大字畑田 150)

松下電器・テレビ事業部

玉川通信工業の接触抵抗試験器

本機は各種機器に使われるスイッチ、コネクタ類の接触抵抗および低抵抗を電圧降下法により簡単に測定できるもので、製造工場において、工程中のチェックその他、品質検査等に便利なるものである。主な規格は、測定範囲0~1000mΩまで5レンジ切換、使用電圧DC-5V(1A)で、計器保護用の押ボタン・スイッチがついている。



(東京都世田谷区上野毛町 368)

玉川通信工業所

昭和無線の小物部品 2種

●バッテリー・ケース

携帯用テープ・レコーダー、TRラジオなどの乾電池を入れるケースで、コンパクトに電池を収めることができ、接触不良の心配もない。

●TV用110°偏向用小型プラグ

高級モールド製で110°テレビ用に小型に作られたもの(写真右)。

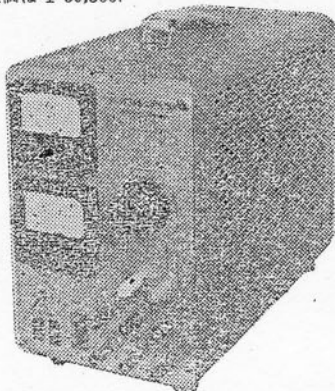


(東京都品川区東戸越 5の24)

昭和無線工業 K.K.

加藤レギュレーター
直流定電圧装置 “ES-200L”

直流定電圧装置は電子管回路の実験、研究に欠くことのできないもので、従来の製品の不備を徹底的に改良したものである。本機の特長は直流出力電圧が広範囲に(0~400V)連続可変となっていること、安定度が出力電圧の広範囲にわたって一定であること(AC入力90~110Vの変動に対して±1%以内、0~200mAの負荷変動に対して±1%以内)、C電源用として-200Vの負電圧を取出すことができる。また内部照明つきの独立した出力電圧計、電流計を有している。6.3VのAC回路を2回路内蔵している。全体をタテ長に組んであり(高さ270×幅180×奥行350mm)、幅のせまいところにも置けるなどである。重量は約15kg。定価は¥59,500。



(東京都港区赤坂溜池町 2井上ビル内)

加藤レギュレーター製作所

山水の自動電圧安定装置

電灯線の電圧が大幅に変動しても、いつでも自動的に100Vを保持するもので、使用機器を安定にしかも寿命を長く使うことができる。出力は定格150Wで、50W~200Wまでの全電気製品に使うことができる。安定度は入力85~110Vの範囲で100V±3%以内(定格負荷)、効率率は75%以上、外形寸法は横210×高さ130×奥行140(mm)、重量5kg。正価は¥4,950。



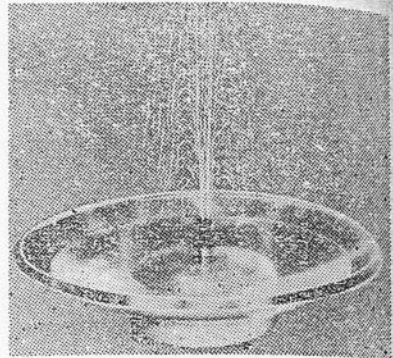
(東京都杉並区和泉町 460)

山水電気 K.K.

QQQの卓上噴水

噴水を室内にもってきたらさぞ涼しからうというわけで出した卓上噴水(Room Fountain)である。栄光を放つプラスチックの透明水盤(直径40cm)の中心から三筋の銀線となって静かに噴出する水が、水盤の内側に仕込まれた

2色の点滅電球に映えるというものである。この噴水はモーターを使用していないから半永久的で、操作は容器に水を入れプラグを差込むだけでよい。平均電力は15W、重量870gr。定価は¥2,950。花3個1組が¥180。予備電球1組¥50。

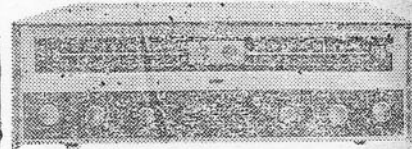


(東京都大田区大森 2の181)

中央無線 K.K.

トリオのステレオ・
トライアンプ “W-25”

出力10Wのアンプが2台組込まれており、それぞれ2バンド・チューナーつきとなっているので、16cm~30cm口径のスピーカーを働かせするのに充分ゆたかな音量を楽しむことができる。使用真空管は6BE6×2、6BD6×2、6AQ8、12AX7×2、6BM8×4、6ME5×2、5AR4、0A79×2の14球+2石である。出力は無歪8W×2、最大10W×2、使用PUはマグネチック、クリスタル。外形寸法は横436×高さ132×奥行300(mm)で、重量は11kg。正価は¥25,900。



(東京都大田区調布千鳥町 74)

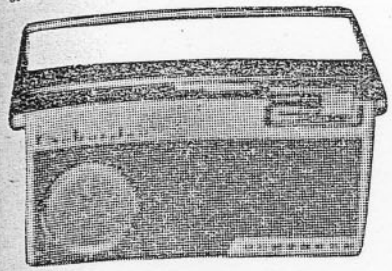
トリオ K.K.

DOKのドコーダー “PT-4H”

部品メーカーとして伸びてきた電気音響KKが、このほどトランジスター・テープレコーダーを発売するようになった。以前より輸出向としてイヤホン式のものを作っていたが、今度は国内需要に向けて、スピーカーつきを出した。縦99×横196×高さ55(mm)で1.3kgという小型軽量なものながら、テープレコーダーとしてのあらゆる性能を持っている。使用テープは3号リールで、速度は9.5cmと4.75cmの2つ、ダブル・トラックであるから、4.75cmの速度なら1本のテープで1時間の録音・再生ができる。電池は単三5本で、ケースとも本体の中に収める。寿命は約3時間であるが、ACアダプターを使えば数ヶ月は保つ。トランジスターは6個、スピーカーは6cm型、マイクは小型ダイナミック型、モニター用にイヤホンを使用することもできる。また写真機用シリーズの使用により、リモートコント



コントロールも可能になっている。操作は押ボタンによる。正価は ¥32,800。

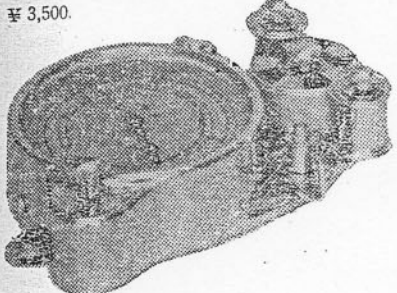


(東京都大田区西六郷 3-25)

電気音響 K. K.

テープ・タイマー

録音箇所と録音時間を即時に正確に知ることができるもので、測定ローラーと減速歯車列を組合わせ、進行するテープに密に接触することにより測定ローラーの回転数から進行したテープの長さを指針にて表示するようにしてある。このタイマーの誤差は1時間につき1秒以内で、指針の指示許容誤差は±0.08%以内である。これによりテープの編集は容易にしかも適確にでき、また測定ローラーがストロボの働かしもするので、8ミリの映写機と同調させることも可能である。なお、これはどのテープ・レコーダーにも取付けることができる。正価は ¥3,500。



(大阪市東区本町 1-11)

内田洋行 K. K. (発売元)

GS ボタン電池

乾電池を充電する、蓄電池を密閉する……という夢を実現したが、この完全密閉型焼結式カドミウムニッケル・アルカリ蓄電池である。50円玉より少し大きいぐらいの直径のボタン型のもので、これらを数個必要に応じて適当な接続にしてプラスチック・ケースにおさめてある。容量は40, 180, 250, 2000 mA/H 等々がある。充電が可能で、密閉型だから液の洩れるようなこともなく、ケースの腐蝕することもないので、半永久的に使えるが、急速充電ができず、電池の安全を守るため定電流充電をする必要があり、このため充電には同社製のボタン電池用充電器を使うがよい。なお、この電池を使った小型軽量なフラッシュライト“Hi-lite”も売り出されている。TRラジオ用電池として606Pと同タイプのものであり、その定価は



¥600、充電器は ¥350。
(京都市南区吉祥院西の庄踏の馬場町3の2)

日本電池 K. K.

ソニーのポケット型 TR ラジオ “TR-620”



ご婦人のポケットにも入る、とうたって、9V電池を使ったものとしては世界最小という6石(シングル・バンド)ラジオである。感度は自蔵のフェライト・バー・アンテナ使用のとき200μV/m(出力10mWで)、選択度は約12dB(1400kcにて10kc離調時)、出力は無歪120mW、最大240mW、スピーカーは5.5cm型、電源はBL-906P(9V)で、消費電流は無信号時が6mA

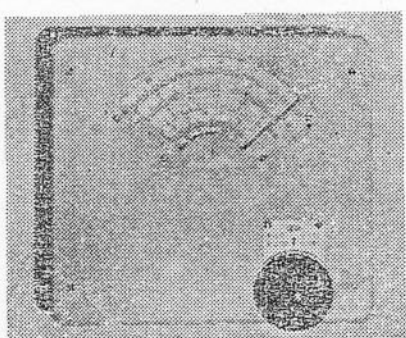
最大出力時30mAである。外形寸法は縦90×横60×厚さ21(mm)で、重量は175gr。ダイヤルはバーニア式で目盛板のマドのところにレンズがついていて同調がとりやすいようにしてある。正価は ¥6,800。

(東京都品川区北品川)

ソニー K. K.

NTK の超微動ダイヤル “SD-140”

これは通信型受信機4バンド用のメカニカルバンド・スプレッド・ダイヤルで、535~1605kc, 3.5~7.5Mc, 7~15Mc, 14~30Mc(2セクション・バリコン使用)で、スプレッドの対比は180:1である。本ダイヤルはフライホイールにより駆動され、またセレンを使用して直流モーターにてゴースタンをかけてモーター・ドライブとすることも可能である



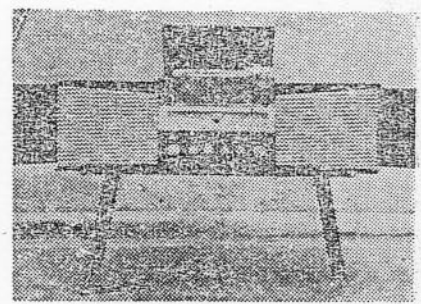
(川崎市今井南町 956)

西村通信工業

スターのステレオ再生装置 “S-300”

左右に16cmのスピーカーを備えたステレオ装置で、ラジオの受信は右チャンネルが2バンドとなっている。使用真空管は6BE6×2, 6BA6×2, 6AV6×2, 6AR5×2, 6CA4, 6G-E12である。左右のスピーカーは嚙向きにとりつけ

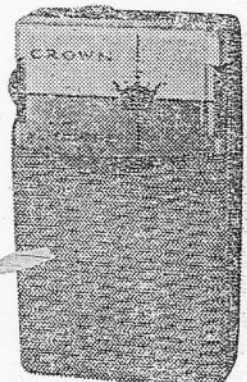
られていて、反射板により前方へ反射されるため、その反射板により、状況に応じて音の拡がりを適当に調節することができる。またステレオ・バランス・メーターもついている。外形寸法は高さ760×幅1020×奥行250(mm)である。



(東京都港区芝三田 1の5)

富士製作所 K. K.

クラウンの2石SPつき ラジオ “TR-25”



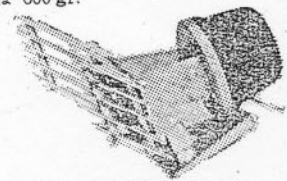
クラウンでは2石でスピーカーを鳴らすという小型ラジオを発売した。回路は2石のダイオード・レフレックスで、受信周波は535~1605kc, 使用石は2SA83, 2SA77にゲルダイ1S93×2で、5.7cmのスピーカーを鳴らすようになっている。電池はBL-006Pを使用、外形寸法は104×61×31(mm)で、重量は200gr。正価は ¥3,200。

(東京都千代田区神田末広町 38)

クラウン K. K.

ミラフォンのトゥイーター “RL18-J”

これはアコースティック・レンズを使ったトゥイーターで、特にステレオ再生に要求される広い指向特性をもたせてある。その構造はドライバー・ユニットに強力な双磁石フィールドと軽合金製コーン型振動板を使用し、その前面はアコースティック・スタビライザーを、背面にエア・ダンプの新方式を使っている。主な規格は周波数レスポンス1,500~16,000c/s, クロスオーバー周波数2,500c/s, VCインピーダンス8, 16Ω, 寸法は180×150×115(mm)で、重量は600gr。



(東京都中央区銀座西 6の1)

日本音響電気 K. K.